

○10月モニターレポート

日時:2012年10月28日(日) 10:00~11:30

天気:雨

区間:矢作川右岸 37.0km~38.0km

10月のレポートです。よろしくお願いします。

今回レポートしました区間は、堤防内に公園や歩道もなく、堤防沿いに車道のみがある区間です。この堤防沿いの車道は、国道248号線とほぼ平行してあるため、渋滞を避けるためによく利用されています。

しかし、それは限られた日中の時間帯であって、夜間や早朝はそんなに車を見ることはありません。

先に記したように、公園も、歩道もないため、人通りもほとんどありません。

そのためか、堤防には多くのゴミが捨てられていました。

ただ、今までレポートしてきた区間とは、捨てられているゴミの種類が違うことに気付かされます。

今までよく目にしてきたゴミと比べて、一つ一つのゴミのサイズが大きくなっています。

(もちろん小さなゴミもあります)

このように車で簡単にこれて、人目が少ないところは、絶好の(大きな)ゴミ捨てポイントになってしまいます。

その証拠に、この車道沿いの駐車できるスペース(待避所)で、しかもガードレールが切れているところを

中心にゴミが散らばっていました。

以前から、そのような問題があるらしく、ここには注意勧告の看板が多く立っています。

しかし、効果のほどは疑問です。

いっその事、この駐車スペースをなくすか、時間帯によって利用を制限する等の処置が必要かと思えます。

そして、ガードレールの切れ間をつなげることも、一つの小さな予防策になると思えます。

今回訪れた時は、きれいに堤防の草が刈られていて、大変見通しが良くなっていましたが、その分よけいに

ゴミが目立っていました。

草を刈った後に捨てられたのかどうかは定かではありませんが、刈り終えたラインに沿ってゴミがたまっているところが多々あるので、おそらく草刈の業者がゴミまでは処理しなかったと思われます。

草刈作業と並行して、清掃作業も同時に行うことが効率的であるし、また堤防の維持管理にとっていいように

思われます。

小雨がぱらつき、少し肌寒い日でしたが、のんびりと散策が出来ました。

以上、報告申し上げます。

